

かなり欲張りな DHV クラス 1-2 グライダー



APCO PRESTA



プレスタは従来のDHVクラス1・2の常識を越えた高性能グライダーと言つても過言ではない。APCO社の「クラス最高の製品を造る」というポリシーはこのプレスタにも受け継がれている。前作のバギラ(クラス2)に匹敵する滑空性能と軽快なハンドリングに仕上がったプレスタは、最も信頼できる、かなり欲張りな最高の翼といえるだろう。時代はまさにDHVクラス1・2だ!

機能的なユーデザイン バルブシステム クローズドインテーク

りすぎないようなシステムになつてゐるため、高速時の安定性と高い滑空性能を両立している。

緊張を解きほぐす 穏やかなテイクオフ特性

プレスタのもつとも特徴的なデザインとしてはじめに目につくのは、一部のインテークを閉じたクローズドセルを採用したことだろう。このクローズドセルにはメッシュを採用し、立ち上げの際にはインテークが開き、翼形が形成されるとラム圧によって閉じるバルブシステムになっている。また、一箇所だけのセルをクローズした時に、その隣のセルに歪みが生じないように両隣のセルもハーフクローズされている。このデザインによつて、立ち上げから離陸までは一定したスムーズな特性でありながら、飛行時には優秀な滑空性能を実現している。

その他、クラス2のシンバに採用されたデザインからのフィードバックを受けて、ライン本数を削減して空気抵抗の低減を図っている。ライザーには翼端折りライザーが装備され、アクセルシステムにはシンバ・コンペ同様にアクセレート時に翼端の迎え角が大きくな

イメージどおりの反応で 軽快なハンドリングと旋回特性

プレスタは、前述のとおりバルブシステムを装備したクローズドインテークを採用しているので、ライズアップにもまったく不安感はない。フロントライザーを引き上げる時のテンションはとても軽く、それでいてゆつくりとした一定速度で立ち上がって来る。インフレーションには特に癖はなく、素直にキャノピーは頭上で安定する。テイクオフについても基本的な操作だけで十分にリラックスして行うことができるだろう。穏やかなテイクオフ特性はそのフライトの緊張を解きほぐし快適なフライトへと導いてくれるだろう。

特徴的なクローズドインテークは、ライズアップ特性に影響を与えずに滑空性能を向上させている。

NEW GEAR FLIGHT REPORT



シンプルなライザーはとても
扱いやすく翼端折りも簡単。
速安定にも配慮されている。



軽快なハンドリングとスピーディな運動性はサーマルの中にいることを楽しくさせてくれる。

PRESTA DIMENSIONS

※飛行総重量はパラグライダーを含む重量
※最大速度はアクセル使用時の値

サイズ	XS	S	M	L
翼面積 m ²	26.1	27.1	29.0	31.0
翼面積(投影)m ²	23.2	24.3	25.6	27.3
スパン m	11.7	12.1	12.7	13.4
スパン(投影)m	9.65	10.3	10.6	11.1
ルートコード m	2.9	2.9	2.9	2.9
チップコード m	0.5	0.5	0.5	0.5
アスペクト比	5.3	5.4	5.6	5.8
アスペクト比(投影)	4.1	4.4	4.5	4.6
セル数	(32x3)+(2x2)+4	(33x3)+(2x2)+4	(35x3)+(2x2)+4	(37x3)+(2x2)+4
機体重量 kg	6.7	7.0	7.4	7.6
飛行総重量 kg	64~80	79~99	95~115	105~130
最低速度 km/h	21	21	21	21
トリム速度 km/h	37	37	37	37
最大速度 km/h	50+	50+	50+	50+
最小沈下速度 m/s	1.0	1.0	1.0	1.0
DHV / ACPUL	1-2 / STANDARD (予定)			
JHSC	取得予定			
希望小売価格	¥380,000	¥385,000	¥390,000	¥395,000

ダーには、長いストロークと深いブレーキ操作を伴うハンドリングのグライダーもあつたが、バギラやシンバの旋回性の良さに反映されているようにAPCOグライダーのハンドリングは常にマーケットとニーズにあつた特性を出している。

プレスターの旋回性はバギラによく似ているといえるだろう。ハンドリングとしては少しストロークが長くなり、ブレーキングテンションもやや軽くなっている。僕にとっては今までのAPCOグライダーの中でも最もよいフィーリングを感じた。サーマルに対するロールイングがとてもスムーズで、サーマル内でのバンクコントロールが、ウェイトシフトとブレーク操作のどちらでもイメージとおりにコントロールしやすいのだ。

トリムスピードがあつてロール方向の運動性のよいプレスターは、本当に自由自在にサーマルの中を泳ぎまわっている。イメージ通りの反応と軽快なハンドリングはまさに、「サーマルの中に入るのが楽しくなるてくる。イメージ通りの反応と軽快なハンドリングはまさに、「サーマルの中に入るのが楽しくなる」というような感じがしてくる。イメージ通りの反応と軽快なハンドリングはまさに、「サーマルの中に入るのが楽しくなる」というような感じがしてくる。イメージ通りの反応と軽快なハンドリングはまさに、「サーマルの中に入のが

なつてくるグライダー」といえるだろう。

プレスターは従来のAPCOグライダーと比べて、サイズ表示に対する総範囲が重いほうにシフトしている。全般に飛行重量の範囲が異なっている。一般的にSサイズがプレスターでは79~99kgとされた。例えばアリグラでは73~90kgだった。例えアリグラでは73~90kgだったSサイズがプレスターでは79~99kgとされている。このことから、より高い翼面荷重で性能を発揮するデザインであることがうかがえる。

そして、トリムスピード37km/h、最高速度50km/h以上、最小沈下率1.0m/sというスペックは従来のDHVクラス1-2の常識を変える高性能を秘めていることを語っている。

実際に僕は総飛行重量95kgでSサイズとMサイズを乗り比べてみたが、ハンドリングが良いので常に効率のよいリフトにとどまることができて、浮きに関してはほとんど差を感じなかつた。トリムスピードにおいても下限で乗ったMサイズでも、充分にスピード的な速度とハンドリングが得られていて

すべてを楽しむための フリー・フライング・グライダー それがプレスターだ！

パラグライダーで飛行できる気象条件にはさまざまな状況が発生する。強風、乱気流、強すぎるリフト、降りにくいランディング、弱いリフトコンディションなどで、あなたは自分の技

これまでのパイロットに満足いくコースを変えたり、自由自在といつた感じだ。余裕を持つて自由に性能を使いこなせることは安心と自信につながり、すべてのパイロットに満足いく喜びを与えてくれるだろう。

軽快なハンドリングと十分に満足いく滑空性能、それでいて扱いやすい特性と信頼できる安定性はパラグライダー本来の楽しさを伝えてくれるはずだ。プレスターはDHVのクラスカテゴリーにとらわれず、オールラウンドな場面でフリー・フライングを楽しめるグライダーとして幅広い層のパイロットに受け入れられることだろう。



DHVクラス1-2であることを忘れさせるほどの滑空性能は、安心感と自信を与えてくれる。

製造元:アプコ・アビエーション/イスラエル
輸入・販売元:(株)ラ・ムエッティ
〒319-0209 茨城県西茨城郡岩間町泉967
電話:0299-45-0414 FAX:0299-45-0166
E-MAIL:japanlamouette@mba.nifty.ne.jp
URL:<http://member.nifty.ne.jp/jlm/>

術とグライダーに自信が持てるだろうか?

少しでもフライトに際してストレスを感じることがあるのなら、プレスターを試してみてほしい。プレ

スタはきっとフライ

トに関するストレス

を取り除いてくれる

だろう。